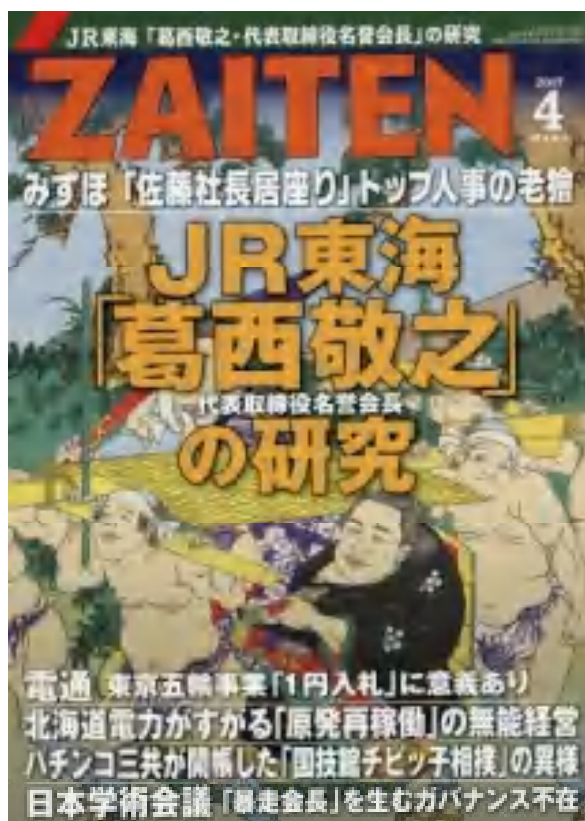


『ZAITEN』葛西名誉会長の実態！シリーズ①

葛西名誉会長は「老害経営者」！ 読めば分かる、我が社は世間の恥！



全社員の皆さん、経済誌『ZAITEN』4月号（左写真）をご覧になりましたか？表紙に「JR東海葛西敬之代表取締役名誉会長の研究」と大きく書かかれ、21ページにも及ぶ特集記事が掲載されています。内容からして、相当長期間かつ広範囲にわたって、取材がされているのが分かります。

葛西名誉会長の自宅の写真が掲載されたページからスタートする誌の最初の見出しは、「国民に禍為す『老害経営者』怒涛の驀進」。この誌の主な主張点は、①JR東海という企業は葛西名誉会長に牛耳られ、異常な会社であること、②葛西名誉会長の政治介入は常軌を逸していること、③リニア中央新幹線をめぐる動向・経営戦略は常識では考えられないこと、④国鉄改革をめぐる裏事情と労働組合破壊策動などです。

全社員の皆さん、JR東海という会社を常識のある会社だと思いませんか？誌を読めば、数多ある会社の中で、JR東海という会社（というより葛西名誉会長）が、いかに非常識な会社（経営者）であるのかが理解できるはずです。

本紙では、『ZAITEN』の内容をピックアップしたものを順次紹介します。ご期待下さい。

本紙では、『ZAITEN』の内容をピックアップしたものを順次紹介します。ご期待下さい。